



若者未来会議の設置
16万円

総合戦略策定に若者の意見を取り入れる

国も県も市町村も、その未来は若者に託される。若者を大切にしない社会に未来はない。 笠原 武

成年後見申立等支援
64万円

申が家庭で立きてきなぐ申し立てる等によつて長て

認知症高齢者等がますます増加し、後見人の需要も一層高まっていくと見込まれる。後見の需要増に対応し予算の増額を。 井口亮一

コミュニティ・スクール
22万円

学校保護者や地域住民に参画するが

学校が抱える諸問題点にしっかりと向き合えたという意識調査が報告されている。地域力を生かし、着実な効果を生み出していく。 笠原規弘

住の魅力PR事業
30万円

内移住促進のための町

和紙すき体験等、泊を伴うツアーで小川町の魅力を堪能してもらい、交流人口以上、定住未満の関係人口増えに繋げる取り組みを評価。 田中照子



放課後子供教室
940万円

校に開設 大河小・中川小・中川小に学続

多くの方の協力によって、放課後の子供たちの活動の場が拡大。安全安心だけでなく、新しい出会いや新しい活動で成長を見守る。 山口勝士

小川町版ネウボラ事業
651万円

的課題や婦や乳幼児等に
対応する

支援プランを作成することにより、妊娠前から出産・子育て期の切れ目ない支援体制が整った。安心して子育てができる。 高橋さゆり

デマンドタクシー補助金
2100万円

自宅と乗降ポイント
を利用した交通手段

現状、成功している事業と言えるが、一層の充実を願う。委託先との意見交換の場を多くつけていただきたい。 松葉幸雄

ノンステップバス導入
300万円

台のバス導入支援

さらなる支援で、ほかの路線にもノンステップバスの導入拡大を。 金子美登



平成31年度
当初予算

可決

一般会計

88億 (前年度比0.7%減)
4400万円

※金額は万円未満切捨

平成31年度の一般会計予算は、

①地域の活性化 (8658万円)

②子ども子育て環境の充実 (1億1152万円)

③安全・安心のまちづくり (2億4816万円)

を重点分野として、さまざまな事業が予算化されました。

期待を寄せる新しい施策や、課題を抱えたままの事業もありました。それらすべてを皆さんにお伝えするが、今回は趣向を変えて、全議員に注目した事業を紹介し、議員ならではの視点についても示してみました。ぜひ、ご覧になってください。

(重複を避けるため、1議員1つ掲載とさせていただきました)



学校再編等審議会委員報酬
52万円

答づべき審議会の設置に関する諮問に對する等に基

4年前から訴え続けてきたことが、ようやく一歩進む。みんなが本気で取り組めば、地域の宝である子供たちのためになるはずである。 島崎隆夫

鶴巻公園遊具等整備
502万円

康交流 幼児から高齢者まで遊具を設置するまで

子育て支援の拠点、多世代交流の場としてココットを中心に、隣接エリアへもその考えを広げた。点から面へ新政策の展開が楽しみ。 戸口 勝

地域学(おがわ学)構築
143万円

を能地域理学構築を養うおがわ学

地域の歴史、小川町の歴史、課題等を勉強し理解し郷土愛を育て、この町、自分の住んでいる地域を好きになつてもらう。 大戸久一

ため池の耐震点検
2030万円

た災害時の安全確保のため耐震点検を実施

平成30年7月豪雨による湖沼の決壊を忘れてはならない。点検事業は、町内すべての「ため池」も視野に入れるべきだ。 柴崎 勝



土砂災害ハザードマップ作成
330万円

詳20ブロックに分けた
て作成

当町で起り得る災害の中で、最も現実的とも言える土砂災害。「進化したマップ」を、私たちは生かさなくてはならない。 宮澤幹雄

介護保険事業計画策定
345万円

計第8期介護保険事業の委託料を策定するため

町の高齢化率は36.5%超、ますます保険料の個人負担は増加の一途である。いかに予防事業により抑制できるかが今後の課題。 根岸成美

仙元山周辺花のまちづくり
83万円

見晴らしの丘公園内にヤマザクラ等を植

人々の心に伝わる美しい事業。清流櫻川の水面に映る仙元山の花木を連想すると、「小京都おがわ」の唄が聞こえてくるようです。 松本修三

注目した事業名
事業予算

事業の概要

議員目線でコメント
議員名